

# 今金町地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

今金町は人口の約5分の1が75歳以上の高齢者であり、その割合は更に増えることが予想されるため、現在の自家用車中心の地域交通のままでは、今後日常生活において不便になる世帯が増加することが懸念されます。

このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統(函館バス瀬棚線)に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを導入し、地域の生活交通ネットワークの構築を進めます。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

平成29年度に利用実績が減少したことから、平成28年度と同等以上の利用実績を目標とする。

予約バス「ルンるん号」全体の利用者数 3,600人

## 令和元年度事業概要

予約バス「ルンるん号」【八東・白石地区】【金原・豊田地区】【日進地区(補助対象外)】【田代・稲穂地区】

- ・運行形態: デマンド型フィーダー路線
- ・運行事業者: 有限会社東ハイヤー
- ・運行日: 平日、土曜日(日曜日・祝日は運休)
- ・運行回数: 今金行き便 午前2便  
地区帰り便 午後3便(学休日は午後5便)
- ・運賃: 1回200円

## 地域公共交通の現況

- ・函館バス株式会社(町内1路線)  
～国鉄廃止に伴う代替幹線バス路線～
- ・スクールバス
- ・患者輸送バス

## 協議会開催状況

平成31年3月26日 平成30年度第4回協議会を開催  
・市街地における予約バス実証調査実施結果及び本格運行への移行について 等

令和元年6月19日 令和元年度第1回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について  
・市街地予約バス本格運行について 等

令和元年12月19日 令和元年度第2回協議会を開催  
・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について 等

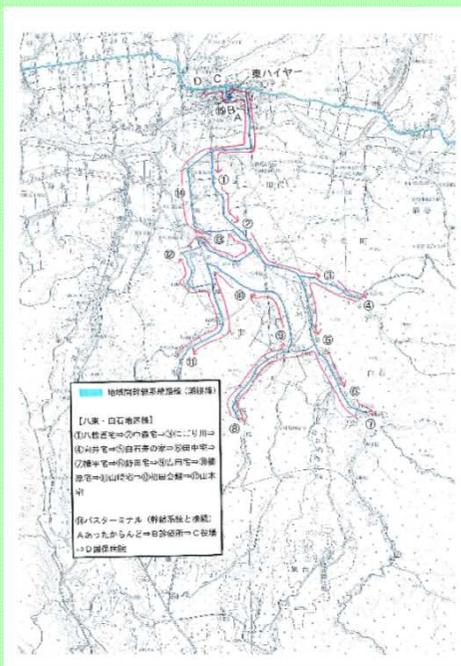
# 令和元年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・フィーダー路線のエリア選択は、平成25年度実施の今金町地域交通サービス導入調査及び地理的事情に勘案し決定。
- ・前年度に実証調査運行を行い、最終的なダイヤを決定。
- ・地域住民説明会の開催、町広報紙による周知、運行地区全世帯への時刻表の配布、患者輸送バスに同乗し制度切り替えの説明等により、住民周知を行った。
- ・平成30年4月より、複数名又は団体による一括予約やファックスでの予約を可能とし、より利用しやすい受付体制を整えた。
- ・令和元年7月より、これまで下車のみであった市街地エリアでも乗車を可能とした。

## 2) 運行系統

### 八束・白石地区



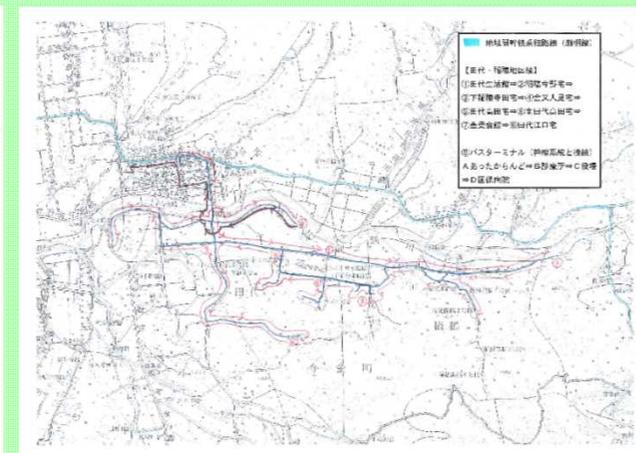
### 金原・豊田地区



### 日進地区

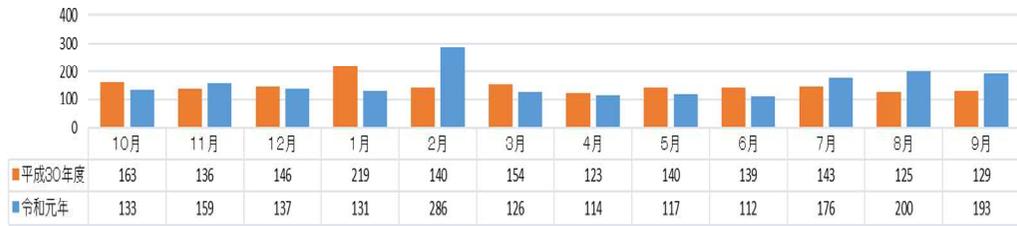


### 田代・稲穂地区



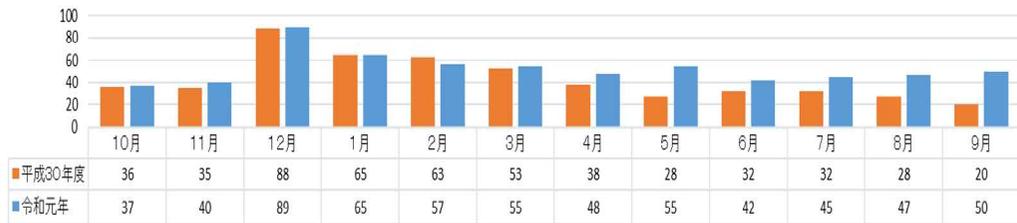
### 3) 利用実績

八束・白石地区



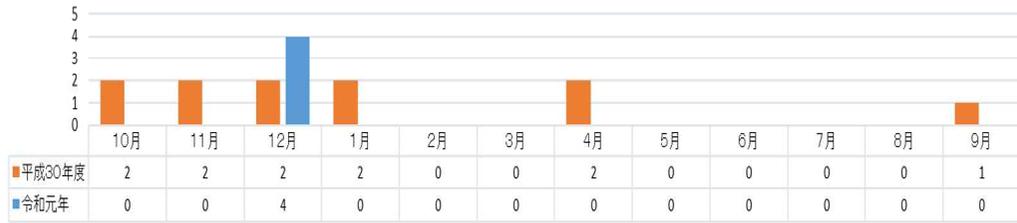
合計 平成30年度 1,757人 令和元年 1,884人 ※帰リ最終便(補助対象外)利用者5人を含む

金原・豊田地区



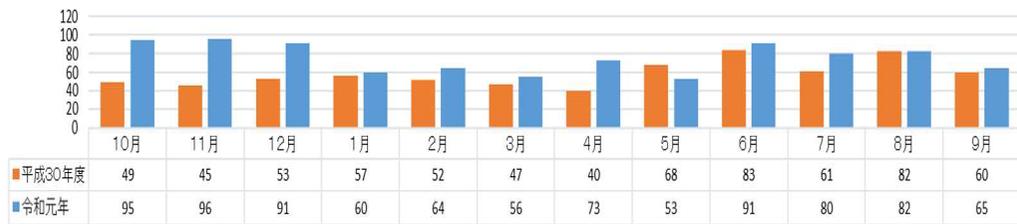
合計 平成30年度 518人 令和元年 630人

日進地区



合計 平成30年度 11人 令和元年 4人

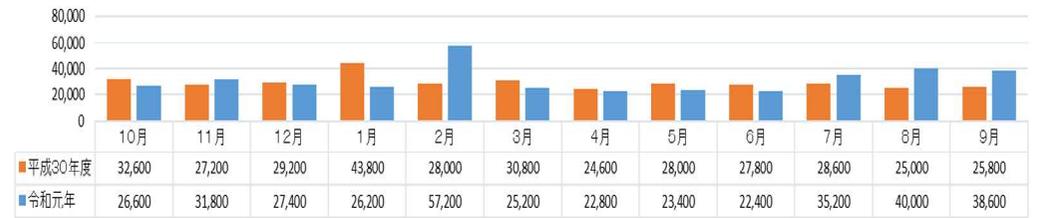
田代・稲穂地区



合計 平成30年度 697人 令和元年 906人

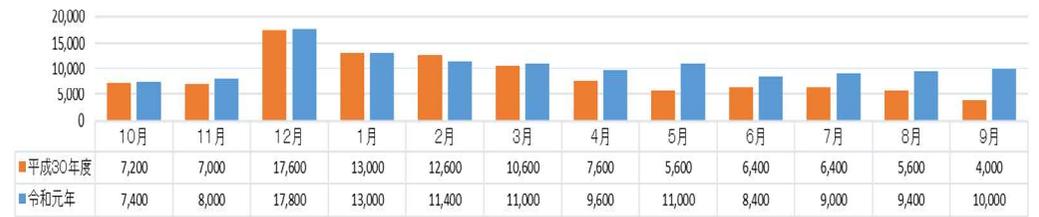
### 4) 収入実績

八束・白石地区



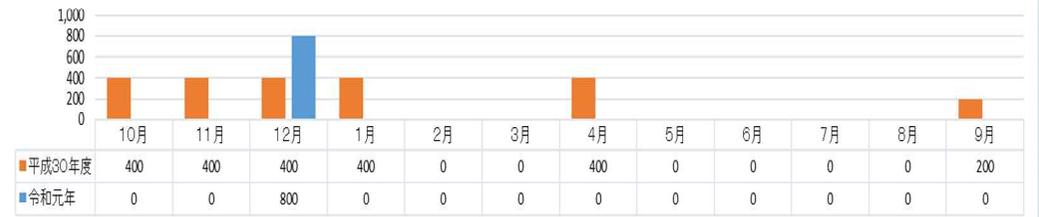
合計 平成30年度 351,400円 令和元年 376,800円 ※帰リ最終便(補助対象外)料金1,000円を含む

金原・豊田地区



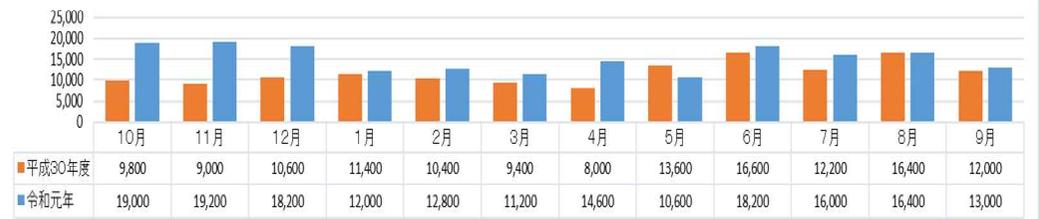
合計 平成30年度 103,600円 令和元年 126,000円

日進地区



合計 平成30年度 2,200円 令和元年 800円

田代・稲穂地区



合計 平成30年度 139,400円 令和元年 181,200円

## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

- ・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。
- ・広報紙面やチラシの配布等継続して情報発信を行い利用促進を図る。

## 6) 目標・効果達成状況

平成29年度に利用実績が減少したことから平成28年度と同等以上の利用実績を目標とした。達成には至らなかったものの、前年度より利用者が増加した。(前年度実績:2,983人、441人増)

目標:3,600人/年

実績:3,424人/年(達成率95.1%)

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度と併せて評価)